

汚泥減容を低コスト・省スペースで実現する新技術

# SludgeReduction SR1000

余剰汚泥減容システム



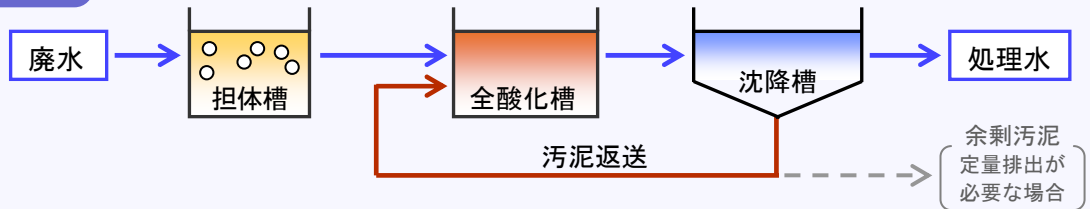
クボタ化水株式会社

# 汚泥減容システム「Sludge Reduction SR1000」

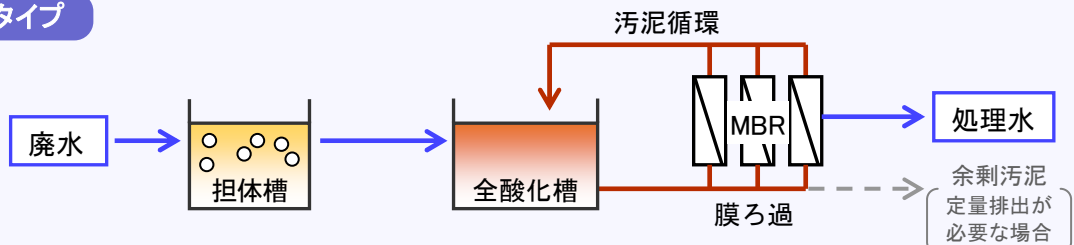
生物処理用の担体 FK ゲル G10 と沈降槽または MBR を用いて処理する汚泥減容システムです。

## 汚泥発生を大幅に低減します！

### 沈降槽タイプ



### MBR タイプ



## システムの特徴

- あらゆる生分解可能な有機廃水に対応**  
従来の活性汚泥処理装置で処理されてきたほとんどの有機性廃水に適応可能です。
- 負荷変動に強い安定処理**  
前処理で担体を利用し、対象廃水に馴れた微生物を優勢に保持するため、負荷変動に強く、安定した処理を行います。
- 余分な設置スペースが不要**  
既設装置を改造する場合は、従来の曝気槽を改造してシステム化するので、余分な敷地の確保は必要ありません。
- 過負荷対策にも最適**  
生産量増加による過負荷でお困りのお客様には、負荷の低減と余剰汚泥の削減をすることができます。
- バルキングが発生しない**  
活性汚泥処理の悩みの種であるバルキングを起こさないのので、装置の維持管理が容易です。
- 新たな臭気対策が不要**  
特殊な薬品や工程を必要としません。新たな臭気対策は不要です。
- メンテナンスフリー**  
本システムに難しい運転管理は必要ありません。人手がかからないため、人材を有効に活用できます。



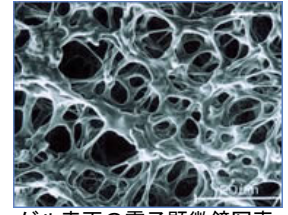
# 生物処理用担体 (FK ゲル G10)

直径 4mm の球体で表面から内部に 20 $\mu$ m 前後の孔が網目状につながっています。孔構造のため高い細菌量を保持することができます。

- 材質 : ポリビニルアルコール(PVA)
- 比重 : 1.03
- 投入量 : ~20%



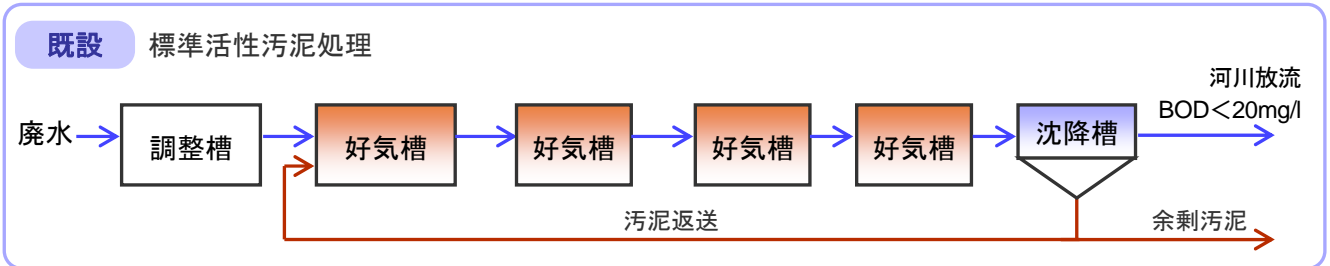
FKゲル G10 (クラレ製)



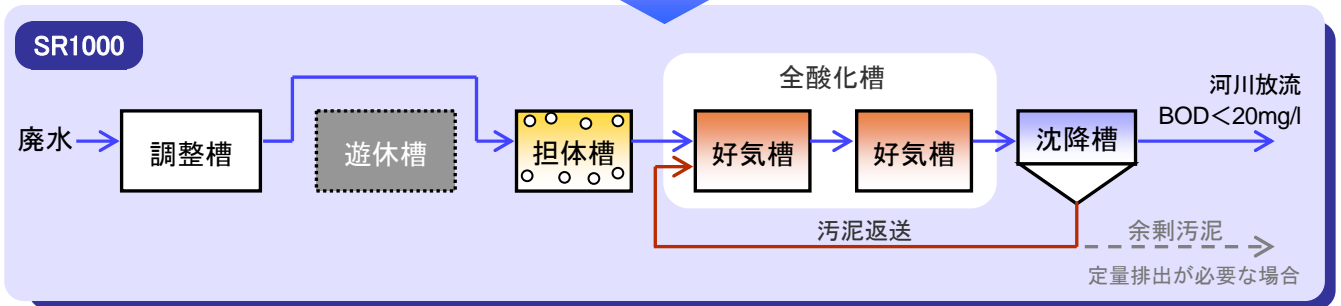
ゲル表面の電子顕微鏡写真

## 汚泥減容の実施例

本システムは新設、改造ともに対応可能です。

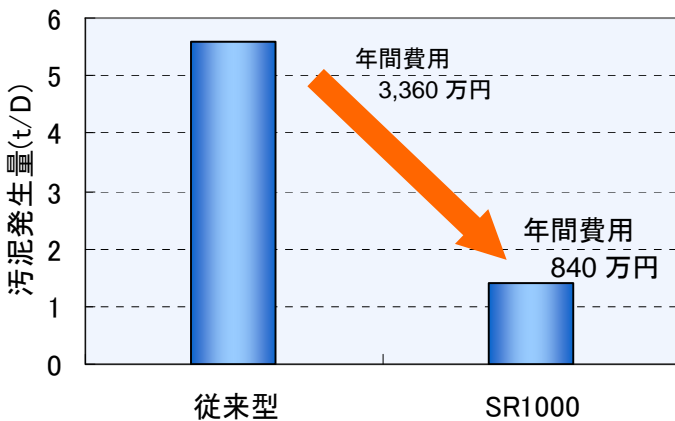


改造



## システムによる効果

●従来設備との比較 (スラッジ発生量・年間費用)



汚泥処分の年間費用を  
1/4 に削減できます。

【条件】

- BOD 総量 2250kg/D
- 汚泥転換率 現地テスト実績より
- 含水率 84% (多重円盤式脱水機使用)
- 費用 汚泥単価 20,000 円/t
- 稼動 300 日/年

お客様の現在の廃水条件と処理設備に応じた、最適なシステムをご提案いたします。

本社・支店・営業所

本社	〒108-0022 東京都港区海岸 3-18-21 ブライトイースト芝浦	TEL.(03)5419-6030 FAX.(03)5419-6031
東北支店	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 2-3-7	TEL.(022)722-3212 FAX.(022)722-3213
名古屋支店	〒452-0821 愛知県名古屋市西区上小田井 2-338	TEL.(052)501-1130 FAX.(052)501-1131
大阪支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 4-5-1 新栄ビル 9F-A	TEL.(06)6305-2913 FAX.(06)6305-2916
広島支店	〒739-0605 広島県大竹市立戸 2-7-18	TEL.(0827)52-0187 FAX.(0827)52-0188
九州支店	〒869-1101 熊本県菊池郡菊陽町津久礼 2404-1	TEL.(096)288-9953 FAX.(096)288-9963
神奈川営業所	〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原 2-13-2 服部相模原ビル 605	TEL.(042)707-4021 FAX.(042)707-4031
長野営業所	〒380-0921 長野県長野市栗田 857-1 BBB ビル 102A	TEL.(026)266-0099 FAX.(026)266-0186

## クボタ化水株式会社

本社：〒108-0022 東京都港区海岸3-18-21 ブライトイースト芝浦 TEL.03 - 5419 - 6034 FAX.03 - 5419 - 6032

<http://www.fkk.co.jp>

2013.01.500